

ナンバープレート/認識 & DXプラットフォーム

Kepler (ケプラー)



既存システムの課題

<従来のナンバー認証システムの課題>

導入コストが高い(全店・多店舗での導入が困難)

店舗ごとの状況に対応した「**店舗カスタマイズ**」が困難

システムアップデートが少ない(年数回レベル)

+

・単なる「おもてなし機能」だけでは費用対効果が悪い

・人手不足対策、残業時間短縮としてうまく活用できない

システムの特長と実績


■ 運用実績

運用開始4年目で123社1038店舗
トヨタ販売店 92社916店舗(全店舗導入34社)
＜2024年12月27日時現在＞

■ システムの特長


①リーズナブルな導入コスト

・自社開発のAI学習型のナンバー認識ソフト
→最小限のカメラ台数・工事コスト




②現場意見が直接反映される実用的な機能

・店舗・本部スタッフからのリクエスト・お困りごとを直接受付
→無償でシステム開発・実装



③自動車販売店に特化したDX促進ツール

・店舗／本部の業務自動化機能をスピーディに実装



店舗向けの機能

CS・おもてなし向上 & 現場負担を押し下げる自動化機能

ご来店前

入庫誘致 (SMS/email活用)
※ハガキ印刷/郵送コストの削減

営業スタッフカレンダー
※入庫予約以外の情報共有・マネジメント

ご予約リマインダー (SMS/email活用)
※遅刻/キャンセルの事前防止

ウェルカムボード
※来店情報や当日変更の自動反映

ご来店当日

来店通知 (お客様名/ご用命/担当者)
※インカム/PC/タブレット/スマホなど

ショールーム着座サポート
※誘導テーブル通知など

ドリンクサポート
※お客様によるQRオーダーなど

その他応対サポート
※作業完了通知/代車貸出/お約束時間など

ご来店後

御礼・独自アンケート (SMS/email活用)
※CSの見える化

従来のナンバー認識システム機能

その他

試乗車・代車予約/管理

CSアンケート集計/対応サポート

「徒歩」来店通知 (中古車/無人エリア)

整備映像のお客様への見える化

2

本部向け機能(ダッシュボード)			
会社全体の「基本オペレーション・DX化」の推進サポート機能			
経営	新車	U-Car	サービス
	リアルタイム来場台数・人数		
	試乗件数/稼働率		代車稼働率
	新規/商談件数		SMB遅刻率
	kepler活用率(着席、ドリンク、アンケートメッセージ送信など)		
	店舗ごとのCSアンケート評価/コメントのリアルタイム共有		
	新点作業用(TDIS対応)SMB		
	メンテナンスパック付帯率/在庫率(月次)		
	車両層別×来店頻度(月次)		

導入までの流れとコスト	
①	カメラ・PC設置工事(半日程度)
②	店舗ごとに認識率を調整・向上 ※カメラ位置に制約が無い場合、認識率95%程度(営業時間中/荒天・黒ナンバー除) ※カメラ設置位置に制約がある場合など認識率については、個別ご相談
③	導入説明会(リモート説明会も可)
④	フォロー説明会(個別カスタマイズ要望→開発/実装) ※開発費用は基本的に『無償対応』
<コスト>	
イニシャル	店舗当たり 55.7万円～(間口1個所)※税別 ※既存ナンバー認識用カメラ活用の場合は、25.9万円～ ※税別
ランニング	店舗当たり 15,000円※税別 ※SMS送信は実費(70文字当たり0.075US\$) ※徒歩来店通知/整備映像システムは、各々別途3500円が必要です